



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

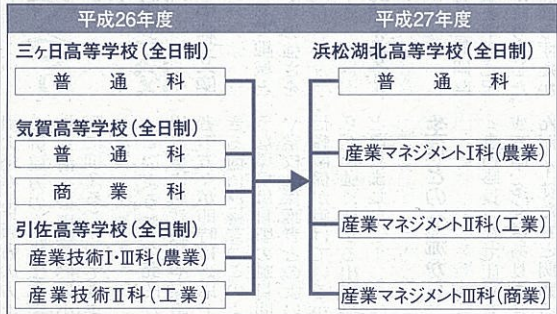
平成26年(2014年)
8月20日
水曜日
第137号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

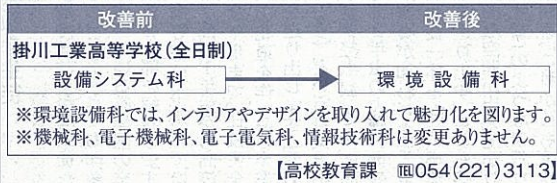
平成27年度静岡県立高等学校学科改善

県教育委員会では、来年度、以下の学科改善を行います。

(浜松湖北高等学校の開校)



(新たな学科へ)

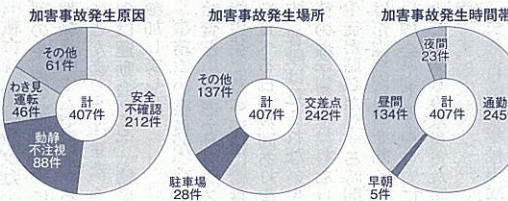


交通事故ゼロを

目指して

「防げる事故」から防ごう

平成24年度2001件、平成25年度は2006件、県内の教職員が起した交通事故の件数です。事故を起こした人などいなくてもかわらず、これだけの数が発生しています。教職員による交通事故をゼロにしたいとの思いから、過去2年間の交通事故発生状況を分析してみました。



交差点での事故が半数以上を占めること、その多くは安全確認不足により発生していること、などが明らかになりました。逆の言い方をすれば、余裕を持って自宅を出発し、交差点への無理な進入を控え、常に周りの目を配り注意を払っていたら、その多くは未然に防げていた、ということになります。たったこれだけの心構えで、事故はかなり減らせるのです。

組織としての取組
このような個人の心掛けに組織としての取組をプラスできれば、効果は一層高まります。交通事故の防止に丸ごと取り組んでいる事例を紹介しましょう。

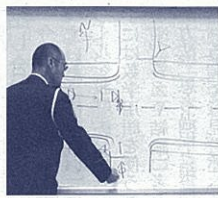
①「有実実行」の交通安全
掛川市立第二小学校では、通勤時に気を付けるべきこと、意識したいことを、標語にしています。忘れずに自動車免許手にした日

②交通安全「1人1宣言」
静岡聴覚特別支援学校では、自家用車で通勤している全教職員が交通安全「1人1宣言」を行っています。思いやり運転の実践、早めの点検、シートベルト着用、徹底飲酒運転の根絶等々。自筆の宣言の中身は、決して派手なものではありません。しかし、その力強い筆跡から、込められた熱い思いが伝わってきます。

③「本物」の迫力
総合教育センターでは、地元警察署の交通安全課長を講師に招き、勉強会を開催しました。交通事故現場の最新情報で日々奮闘されている警察官ならではの話し、普段は「他人事」と捉えがちな交通事故の問題を、「当事者」の目線で考えさせられました。

休日などに、ちよつと車を出かける時も、こんな気持ちで運転したいですね。

先人の分析では、事故は走り慣れた道で起こりやすいことも明らかになっています。



現役警察官による迫力満点の講義

「人権先生」のスキルアップを目指して

本年度も各学校で人権教育推進の役割を担う教員を対象とした人権教育の研修会(小中・高・特)計629校参加を開催しました。

それぞれの役割を果たすことが期待されています。

「振り返り・わかちあい」を大切に!!



誰もが人権先生!!

人権教育の推進には、ウハウウだけでなく、学校全体で人権教育に対する意識を高めることが必要です。そのためには、意識的・体系的に学習する機会を共有することが重要です。そこで本年度は、研修会の参加対象を人権教育担当者から、各学校で人権教育の推進の役割を担う教員に広げました。学校では皆さん一人一人が、子どもたちの笑顔のための人権先生です。それらを積み重ねていくことが大切です。演習の終わりに、各自「振り返り・わかちあい」を通して、目標にどれだけ迫ることができたかを自己評価する時間を設け、その意義を実感できるようにしました。

「振り返り」は、共有することで、互いのスキルアップにつながります。

人権感覚あふれる学校を!!



グループ毎の参加体験型人権学習

人権教育は全ての教育活動の基盤と言えるものです。教師自身の人権感覚を高め、児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、全ての関係者の人権が尊重されている教育の場としての学校・学級づくりをしていきたいと思います。是非、校内研修等で、本研修会の伝達や人権教育に関わる職員研修を行い、「人権先生」のスキルアップにつなげましょう。

[教育政策課 人権教育推進室]



グループでの話し合い結果の発表

実践NOTE 276

学校応援団を増やそう

事務室から見た 御殿場特別支援学校

静岡県立御殿場特別支援学校 主事 中村文昭



筆者(中央)

特別支援学校という初めての環境の中で感じたことなど、事務室から見た視点で、本校を紹介いたします。

生徒の学びを支える環境

今年の2月に、静岡県では東部地域を中心に記録的な大雪が降り、また校内に雪が一面うずたか降り積もり、生徒が登校できる状況ではありませんでした。除雪車が道路の除雪で出払ってしまいい、本校への応援は呼べません。そんな中、教職員全員が、降り続ける雪中、生徒たちが一刻も早く登校できるように精力に雪かきを行いました。さらに、保護者の方々も、後日残雪の処理をしてくれました。

生徒との交流から

事務職員として仕事をしながら、多くはありませぬが、生徒たちと関わる時間もありました。私自身、休日、サッカー部の生徒の練習相手に、教職員チームで参加することがあります。また、今年には運動会にも、一緒に参加しました。

素敵な生徒

最後に、そんな生徒たちのことで、とても印象に残っている高等部の卒業式の一部を紹介いたします。高等部の卒業式では、小学部の1年生から高等部2年生まで、在校生全員で花道を作って、卒業生を送り出します。「おめでとう」という言葉と拍手、そして、涙。そこに高等部2年生の力強い太鼓の演奏が加わります。全校生徒一体となり、卒業生を送り出す、とても感動的な空間が出来上がります。このような素敵な空間を、これからも生徒たちとたくさん共有していきたいと思えます。

話し合いの心得

今まで子ども任せになっていた「伝え合い」にルールを設けました。話し手には数学用語を使うことや「答えや結論」考えたり「答え」を育成する力を育成するテーマに日々研修を進めています。

「解き方カード」をヒントに

今回の実践は中学3年生の内容で、連続する2つの偶数の2乗の差がどのようなかを証明するものが課題です。この課題を解決するために乗法公式や因数分解などの既習事項を利用します。それまでの授業の中で学習した内容を「解き方カード」にまとめ、それを利用することで、自分の考えを持ちやすくなりました。

話し合いの心得

生徒を中心にお互いの考えについて意見を出し合わせ、根拠をもとに説明できるようにしました。中には前出の「話し合いの心得」に沿って説明の仕方まで考えるグループもありました。その後、いつもの伝え合いのグループに戻り、自分の考えを発表しました。

同質グループの形成

根拠をもつて自分の考えを持たせるために、グループ形成にも工夫をしました。「解き方カード」を使い、個人で十分に考えさせ、自分の考えを深めるために同じ考えを持つ同質グループを形成させます。同質グループは3、4人で形成し、その中で1人、リーダーを指名しておきます。そして、



筆者

実践NOTE 277

根拠を持って説明しよう!

静岡県立長田西中学校 教諭 鈴木健

達同士の意見交換に終始してしまったり、分からない人に教えるだけの活動になってしまったりしていました。そこで個々のレベルを高めるために、「根拠を持って自分の考えを持たせる工夫」を授業の中で三つ実践することにしました。

ユニット(話し合い)の心得とルール

話し手と聞き手は互いに相手の話をよく聞き、自分の考えを述べ、お互いの考えを深めよう。

- 話し手は自分の考えを明確に述べ、根拠を述べよう。
- 聞き手は相手の話をよく聞き、自分の考えを述べよう。
- 話し手と聞き手は互いに相手の話をよく聞き、自分の考えを深めよう。

「解き方カード」の活用

自分の考えを深めるために、同じ考えを持つ同質グループを形成させます。同質グループは3、4人で形成し、その中で1人、リーダーを指名しておきます。そして、

グランシップ劇場体験のススメ

アーティストが学校に!

グランシップでは、普段劇場に足を運ぶ機会が少ない子どもたちにも芸術文化の感動を届けたいという思いから、学校等にアーティストを派遣する「アーティスト事業」を展開しています。

地域とのつながり

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ



職員総出による雪かき

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ



卒業生を送り出す生徒たち

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ

今年3月に行われた高等部卒業式では、卒業生25人を上回る42人も来賓の出席がありました。本校は、地域の保護者、児童を対象にした教育相談をはじめ、地域住民との定期的な交流、ボランティア養成講座や地域清掃活動等の様々な活動をとおして地域とも積極的に関わってきました。また、年間2回のコミュニケーション・スクール委員会を開催することにより、地元の前や関係者の方々が本校の活動に常に心を持って関わっていただ



国本武春浪曲出前公演

現場の声を教育行政に 移動教育委員会開催



引佐北部小中学校にて

県教育委員会では、教育委員が学校等に伺い、市町の教育委員会や現場の先生方、保護者、地域の方々と意見交換を行う「移動教育委員会」を実施しています。

昨年度までの年5回から今年度は10回と回数を増やし、より現場の意見を教育行政に反映できるように努めています。

今年度実施した移動教育委員会について紹介し

①伊豆総合高校

伊豆市 5/16
ジョパーク学習活動が盛んな伊豆総合高校を訪ねました。

市教育委員会や学校関係者の懇談会では、ジョパーク学習活動や、NPOと共同で実施している清掃活動等により、地域と積極的に関わる学校や生徒の様子が紹介されました。

②引佐北部小中学校
浜松市北区 6/13
県下初の公立の小中一

育に唯一の望みをかけていると力強く語り、再び答弁を始めたのだ。初代文部大臣の訓示

貴校を訪問しました。1年生から9年生が同じ校舎で学び、下級生が上級生に憧れを持ち、また上級生が下級生を見守るよい関係が築かれています。また、地域の方が学校に強い愛着を持ち、自分たちの学校として地域全体で支えている様子がうかがえました。

③錦田こども園
三島市 7/14
幼稚園・保育園・療育支援室が併設されている錦田こども園を訪問しました。懇談会では、幼保一体に向けた取組、幼・保か

サイバー補導による少年保護活動
静岡から全国へ！
昨年10月、インターネットのサイトや掲示板を利用しての少年・少女の被害等を未然に防止するために、サイバー補導が全国で一斉に開始されました。

このサイバー補導は、平成21年に全国に先駆けて静岡で開始され、マスコミにも多く取り上げられました。警察庁もこの活動を評価し、結果として昨年、サイバー補導の全国展開に至っています。

継続支援
サイバー補導で補導した少年に対して、必要があればその後の支援を行います。以前不適切書込みによりサイバー補導した女子高校生に対して、支援を開始したところ、保育士になりたいという夢があることが分かりました。そこで、子どもに絵本を

事件で捕まるの？
警察では、サイバー補導を実施し、少年に指導・注意をする一方、少年の福祉を害する犯罪の取り締まりを強化しています。以前に、サイバーバトロールにより、下着を売ります」との書込みを発生し、16歳の少女を補導

受け継がれるもの

義務教育課長 林 剛史



時の文部省学校教育局長の日高第四郎局長が答弁に立った。

第92回帝国議会・空白の議事録

昭和22年3月19日、帝国議会議衆議院の教育基本法委員会では、学校教育の6・3・3制等を新たに定める学校教育法案が審議されていた。ある野党議員は、「教育の充実のために法整備だけでなく、校舎施設や理科の実験設備の整備も必要ではないか」と政府の見解を求めた。これに対し、当

答弁をしながら、日高局長は、何も無くなった焼け野原で学ぶ子どもたちの姿に思いをはせ、涙を落し始め、ついに言葉を失い、声を上げて泣いた。議事も涙に、5分間声を発する者がなかったという。しばらくの学問に関する行政の大権

を有している。その責任は大変に重いものである。したがって、文部省の職務を担当する者は、専心鋭意その責任を尽くし、学問をつかさどる行政官の任を全うしなければならぬ。そして、そのためには、学問をつかさどる行政官であることをわきままえ、決して他の官吏と比べることはせず、ひたすら文部省の職務に熟達することを計らう。ある程度は満たないとしても、上に進むよう努力せよ。そして最後に、その職責のために命を投げ打つてもいいと考えるくらいの精神を覚悟することが必要である。

我が国の教育を創り、支えてきたものは、教育に携わる一人一人の良心であり、熱意に他ならない。これは時代と場所を超えた粉れもない事実であるとともに、未来永劫受け継がれる、もちろん、確信している。もちろん、この静岡の地においても

「文部省は、全国の教育を求めた。これに対し、当

「文部省は、全国の教育を求めた。これに対し、当

「文部省は、全国の教育を求めた。これに対し、当

「文部省は、全国の教育を求めた。これに対し、当

「文部省は、全国の教育を求めた。これに対し、当

中学校卒業程度認定試験を実施します

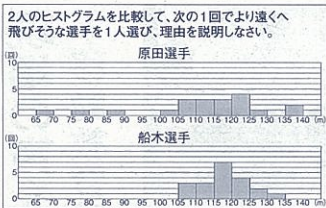
この試験は病気などやむを得ない理由で、小学校や中学校に就学できず、就学を猶予又は免除された方や日本国籍を持たない方が、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験です。合格した方には高等学校の入学資格が与えられます。

- 受験資格
次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方が受験できます。(受験無料)
(1) 就学義務猶予免除者又は就学義務猶予免除者であった方で、平成27年3月31日までに満15歳以上になる方
(2) 保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ、平成27年3月31日までに満15歳になる方で、今年度の終わりに中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由であると文部科学大臣が認めた方
(3) 平成27年3月31日までに満16歳以上になる方(1)及び(4)に該当する方を除く。
(4) 日本国籍がなく、平成27年3月31日までに満15歳以上になる方
願書受付期間 平成26年8月28日(木)～9月16日(火)(消印有効)
提出先 文部科学省生涯学習推進課
試験日/試験会場 平成26年10月30日(木)/静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)
試験方法

- (1) 次の①から③までのいずれかに該当する方は、本人の願出により、ふりがな付き問題冊子の使用が認められるほか、(2)のAの検定試験の合格者は、国語の試験の免除が認められます。
① 日本国籍がない方
② 日本国籍で、2年以上継続して外国に居住し、平成23年8月28日以降に帰国した方
③ 上記に準ずる者として文部科学大臣が認める方
(2) イ～エの検定試験の合格者は、本人の願出により、英語の試験の免除が認められます。

検定試験	実施団体	審査の級
ア 日本語能力試験	独立行政法人国際交流基金及び財団法人日本国際教育支援協会	N2(2級)以上の合格者
イ 実用英語技能検定	公益財団法人日本英語検定協会	3級以上の合格者
ウ 英語検定試験	公益財団法人全国商業高等学校協会	3級以上の合格者
エ 国際連合公用語英語検定試験	公益財団法人日本国際連合協会	E級以上の合格者

問・願書配布 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館7階 県教育委員会特別支援教育課 054(221)2090 054(221)3558



「この単元の内容に關連して児童生徒は今までに何を学習したか?」「今学習している内容はこの先どのようにつながっていくのか?」

これらは、校種を問わず多くの教員が抱く疑問であり、教科指導上の重要な課題です。ここでは算数・数学科における系統性・大切さを二つの視点から確認します。

内容の系統性
次の問題は、中学3年生を対象とした平成24年度全国学力・学習状況調査の問題です。

中学校では、資料の活用領域で、このようにヒストグラムを用いて資料の傾向をとらえ説明できることを目標とした学習を行います。これは、小学校で様々なグラフや表

を用いて資料を読み取る活動を発展させたものです。さらに高等学校では「数学I」の「データの分析」で、データの傾向を把握し説明できることを目標とし、中学校での学習を発展させます。

「小学校(中学校)で「学びをどのよう」に中学校(高等学校)で生かすか」という視点を持ち、指導内容・指導目標の系統性を理解した上で授業に生かしていくことが大切です。つまり、原因の発見や興味・関心を喚起する課題提示につながり、児童生徒の実態により即した「確かな学力」を育てる授業実践となります。総合教育センター作成の「授業づくり指針」が参考となりますので活用してください。

芸術祭2014作品・参加募集中!

- ◇「文芸コンクール」(締切9/5(金))
小説、戯曲・シナリオ、児童文学、評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳
- ◇「高校生短歌・俳句コンクール」(締切9/15(月・祝))
短歌・俳句(高校生対象)
- ◇「美術展」(締切9/25(木))
油彩画、日本画、水彩画、版画、デザイン、工芸、彫刻、造形
- ◇「合唱コンクール」(締切10/24(金))
- ◇「演劇コンクール」(締切公演60日前)

※詳細は、HP [ふじのくに芸術祭2014](#) [検索](#)

問 文化政策課 電話054(221)2254

みんなでソーレ!カヌーだよ、全員集合

初秋の焼津でカヌー体験。いつもの違う秋の風を感じてみませんか。一緒に素敵な思い出を作りましょう。

- 開催日 ①9/7(日)、②9/21(日)、③10/5(日)、④10/19(日) 各回8時30分~
- 会場 県立焼津青少年の家及び小川港周辺
- 参加費 小学生以上900円、未就学児740円(昼食・保険料込)
- 募集人数 各回約50人(3歳以上)先着順
- 申込締切 ①8/26(火)17時、②9/9(火)17時、③9/23(火)17時、④10/7(火)17時

問・問 県立焼津青少年の家 電話054(624)4675

この秋も観音山で自然体験!

第2回観音山オープンDAY
沢登りや沢遊びを楽しみませんか?

■日程 9/6(土)9時~活動終了後、各自解散(受付9時~11時)

■持ち物 弁当、飲料、タオル、着替え、替え靴

■服装 長袖、長ズボン、帽子、軍手、運動靴 ※マタニティ等の対策のため、服装の徹底をお願いします。 ※どなたでも参加可。事前申込み不要。参加費無料。

観音山アドベンチャーキャンプ
「グリーン、ナイト、ウォーター」の三つのアドベンチャーを通して観音山の大自然を体験しよう。

■日程 10/25(土)~26(日)(泊2日)

■対象 小学校4・5・6年(定員120人)

■参加費 5,000円

■申込み 8/18(月)~9/22(月) ※当日締め

問 観音山少年自然の家 電話053(545)0111

「ふじのくに」土民協働 事業レビュー の開催

事業レビューは、県の事業や施策に対して、外部の委員と県職員が議論を行い、県民の評価者から判定や御意見をいただくことで総合計画の着実な推進を図ることを目的に実施するものです。

今回は、「学力向上対策」をはじめ、「補助教材の活用」や「安心・安全な学校給食」などに関する議論を行います。

多くの県民の皆様にご覧いただくため、議論は公開で行い、傍聴は事前申込不要です。ネット中継も行います。

■日時 9月6日(土)・7日(日) 10:00~16:30

■場所 静岡県庁別館7階・8階

問 県行政改革課 電話054(221)2911

※詳細は、HP [静岡県 行政改革課](#) [検索](#)

テクノカレッジ若年者コース入校生募集

県立技術専門学校(愛称:テクノカレッジ)は、県が設置・運営する公共職業能力開発施設です。高い就職率(ほぼ100%)、充実した設備、安い授業料、資格取得に有利な授業など、技術・技能を身に付けたい方にとって、魅力あふれる施設です。

■対象 概ね30歳以下の就職に意欲がある方

■募集内容

- ・沼津テクノカレッジ(機械・電子・情報) 各科20人
- ・清水テクノカレッジ(機械・電気・設備) 各科20人
- ・浜松テクノカレッジ(機械・建築) 各科20人

※募集期間等の詳細は下記電話番号へお問い合わせください。

問 沼津055(925)1071、清水054(345)2032、浜松053(462)5602 **【職業能力開発課】**

県立中央図書館の資料紹介
今森光彦氏 関連の本

この度開催する「ブックレクチャー(講演会)」の講師、今森光彦さんに関連する当館所蔵資料を紹介いたします。

「ニッポンの里山」
今森さんは海外だけでなく、国内においても、人と生きものが共存する里山をテーマに取材を続けています。

取材の成果は、NHK「ニッポンの里山」ふるさとの絶景100(今森光彦監修・写真291/イマ)を所蔵しています。

その他、今森さんの著書は、当館子ども図書研究室を中心に多数所蔵しています。今森さんの著書を読んでからブックレクチャーに参加していただければ、より有意義な会になるはずです。

これら写真を集めた「今森光彦イチャイフオトギャラリー」不思議な生命に出会う旅・世界の昆虫(今森光彦著486/イマモ)は当館子ども図書研究室で所蔵しています。

今森さんの独自の映像美とすぐれた記録性をも

つ写真は、国内のみならず世界各国で紹介され、高い評価を得ています。

今森さんの海外だけでなく、国内においても、人と生きものが共存する里山をテーマに取材を続けています。

取材の成果は、NHK「ニッポンの里山」ふるさとの絶景に出会う旅で紹介されており、当館でも「NHKニッポンの里山」ふるさとの絶景100(今森光彦監修・写真291/イマ)を所蔵しています。

その他、今森さんの著書は、当館子ども図書研究室を中心に多数所蔵しています。今森さんの著書を読んでからブックレクチャーに参加していただければ、より有意義な会になるはずです。

これら写真を集めた「今森光彦イチャイフオトギャラリー」不思議な生命に出会う旅・世界の昆虫(今森光彦著486/イマモ)は当館子ども図書研究室で所蔵しています。

今森さんの独自の映像美とすぐれた記録性をも

■ブックレクチャー
「里山の楽しみ方」
日時 9月6日(土) 14時~15時30分
会場 県立大学大講堂
※要事前申込み(定員先着600人)、入場無料

問 県立中央図書館 電話054(262)1246

EDITOR

今回の1面では交通安全事故防止を目的とする記事の掲載が主で、過去2年間に比べて400件を超える交通安全事故が起きている。自分は大丈夫!と起きている方も、他人から大きな被害を受ける可能性があります。自分自身も、夏休み最後の旅行に出かける方は、交通安全を心がけたいと思います。通勤時などは是非御覧ください。

は無罪と運転を中止し、私はこの記事を読んでから、朝の5時半頃家を出ると、道が多少混んでいても早く出ていけるから大丈夫!と落ち込んで運転中。

学校では、夏休みは残りあと少し、夏休みの最後の旅行に出かける方は、交通安全を心がけたいと思います。通勤時などは是非御覧ください。

(注)

世界で注目の写真

今森さんは滋賀県大津市生まれで、大学卒業後、独学で写真技術を学び、1980年から写真家として、世界の辺境地で自然と生きものの取材を続けてきました。

中でも、8年間にわたるアフリカに通過して撮影した「アングレム・セスキバダレの蜜を吸うキサントパンスズメガヤラフレシア」の受粉メカニズムは世界初となる映像で注目を集めました。

これら写真を集めた「今森光彦イチャイフオトギャラリー」不思議な生命に出会う旅・世界の昆虫(今森光彦著486/イマモ)は当館子ども図書研究室で所蔵しています。

今森さんの独自の映像美とすぐれた記録性をも

■ブックレクチャー
「里山の楽しみ方」
日時 9月6日(土) 14時~15時30分
会場 県立大学大講堂
※要事前申込み(定員先着600人)、入場無料

問 県立中央図書館 電話054(262)1246

資料紹介
今森光彦氏 関連の本

この度開催する「ブックレクチャー(講演会)」の講師、今森光彦さんに関連する当館所蔵資料を紹介いたします。

「ニッポンの里山」
今森さんは海外だけでなく、国内においても、人と生きものが共存する里山をテーマに取材を続けています。

取材の成果は、NHK「ニッポンの里山」ふるさとの絶景に出会う旅で紹介されており、当館でも「NHKニッポンの里山」ふるさとの絶景100(今森光彦監修・写真291/イマ)を所蔵しています。

その他、今森さんの著書は、当館子ども図書研究室を中心に多数所蔵しています。今森さんの著書を読んでからブックレクチャーに参加していただければ、より有意義な会になるはずです。

これら写真を集めた「今森光彦イチャイフオトギャラリー」不思議な生命に出会う旅・世界の昆虫(今森光彦著486/イマモ)は当館子ども図書研究室で所蔵しています。

今森さんの独自の映像美とすぐれた記録性をも

■ブックレクチャー
「里山の楽しみ方」
日時 9月6日(土) 14時~15時30分
会場 県立大学大講堂
※要事前申込み(定員先着600人)、入場無料

問 県立中央図書館 電話054(262)1246

文化祭・体育祭など 各イベントでご利用ください。卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ グッズ

〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。
Tel.054-285-6502
〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33-1F
Fax.054-286-3041